



人権啓発標語

ともだちが ないていたら たすけるよ

菊陽北小学校 1年 森 祐登(現在2年生)



お父さんみたいな仕事をしたい

多くのお父さんは、写真を撮る仕事をしていいます。多くのお父さんは、七五三や家族写真を撮ることや卒業アルバムを作ったり、写真をプリントしたりしています。仕事をしていた大変なことは、写真を撮りに来てくれた赤ちゃんが泣いて写真が撮れないことがあることです。また、修学旅行の撮影でお家にいられないことです。さらに、お休みがないことです。それを聞いて、赤ちゃんが泣くことはいへんことがわかりました。お父さんが、修学旅行の撮影でいなかったり、土曜日や

「お父さんの仕事」

武蔵ヶ丘小学校 2年 浅田 唯都(現在3年生)

日曜日にお休みじゃなくてさみしかったです。けれど、仕事を頑張っているんだなあと思いました。家で休んでいるとき、お父さんの手を見るとパソコンでカチャカチャしているのを見ています。肩も痛そうです。仕事が終わるとすぐにお風呂に入っていました。お父さんは「今日はよく働いたなあ。」と笑顔で言っています。ぼくは、お父さんに「嬉しいことは何ですか。」と聞いてみたら、「みんなの笑顔を見ること。写真をお客様に気に入って

もらったとき。スタッフのみんなの成長をみられたときかな。」と聞いていました。それを聞いてぼくは、お客さんに気に入ってもらえるぐらい働いてもらいたいなあと思いました。お父さんは、家族でキャンプに行くときもカメラを持っていきます。家族でご飯を食べているときや遊んでいるときの様子を写真に撮ってくれています。だからたくさんのお父さんの写真があります。撮ってくれて嬉しいです。だからぼくもお父さんみたいな仕事をしたいです。

先生から

家のお父さんの様子を見て、仕事の大変さや楽しさが伝わってきたようですね。お父さんと写真は、笑顔でもてすてきです。ゆいとくんはお父さんのことを思っています。お父さんも家族のことを考えていて楽しそうです。これから、お父さんみたくになりたい気持ちを大事にしてください。

「人権」ってなんだろう？



「人権」

「21世紀は人権の世紀」と言われていますが、現実には深刻な人権侵害にさらされている人たちが数多く存在します。町の人権教育・啓発基本計画にも、部落差別(同和問題)、女性の権利など13の人権課題があると明記しています。改めて「人権」とは何か考えてみましょう。(右図は人権の手話表現)

- 1 人権のはじまりと歴史**
今から200~300年くらい前に芽生えた「人権」という考え方を一言で言えば「人は皆、生まれながらにして等しく尊い」と言えます。しかし、「人は皆」の中に子ども、女性、障がいを持つ人、奴隷、植民地の人々などたくさんの方が含まれていませんでした。この2~3世紀はそれらの人々の人権を獲得する歴史であり、今も進行中です。
- 2 「人権」と「思いやり」は何が違う**
「人権」と「思いやり」は同じものなのか。「人権」は生まれながらに持っているものならば、だれかに与えたり、だれかから与えられたりする「思いやり」と違うと言えます。
- 3 「人権」と「権利」もまた違う(3つの違い)**
①「人権」は赤ちゃんからお年寄りまで全ての人が持っているものです。「権利」は全ての人が持っているものではありません。例えば自動車を運転する権利は18歳からです。
②「人権」はそれがなくても健康に生きることができません。しかし、自動車を運転する「権利」がなくても健康に生きることができます。
③「権利」と「義務」はコインの裏表です。自動車を運転する権利を持つ人は安全運転をする義務が発生します。しかし、「人権」に義務はありません。「人権」は特別なものといえます。
「人権」は突然得られたものではなく、人々の闘いによって獲得されてきました。この「人権」という「宝」を守り、育てるのも私たち一人一人にかかっています。「人は皆」を広げていきましょう。

出典：(一財)全日本ろうあ連盟 発行「わたしたちの手話 学習辞典」

学校だより 63

菊陽中部小学校



『菊陽中部小』

創立150周年

伝統ある菊陽中部小学校は今年度で150周年を迎えます。さまざまな教育活動の中で150周年を意識した取り組みを行っています。その一つが5月に行った運動会です。4年ぶりに来校した家族や来賓の歓声と拍手がこだましました。全ての児童がそれぞれの役割をこなし、一人一人が輝くすばらしい運動会でした。



蒼穹を背に 輝け! 中部っ子

きくよう文芸

6月

菊陽句会報

黄昏る、水田に車列灯を流し	紫藤 祥子	どくだみの匂ふ旧道灯りかな	田中 郁子
万緑や、パワー全開伊勢詣り	曾我 育代	紫陽花や家窓ごこの花の色	寺尾千代子
紫陽花の水滴光る今朝の庭	曾我トモ子	更衣過去のスカートびたり合ふ	財津 早雪
どっこいしよと力添えるや早苗箱	緒方チエ子	紫陽花は心のままに色重ね	原野レイ子
胡瓜入りチャーハン料理期待せず	米山るみ子	鉛筆はやさしき音や梅雨に入る	高橋 孝子
水替えて今日を祈りぬ花棚	吉田 幸子	杖影のほつぽつと行く登山道	北川しんじ
花芽覗く蓮の巻葉の解けをり	木村 信子	地藏様めく庭石や若葉影	佐藤 澄世

短歌会

十日まへ藤の花房色付くに青葉さかりて影に隠れぬ
秋キヤベツ六月半には種まきす誰より早く出荷するべく
雨の中色極まりてあじさいは今大輪の輝きを増す
梅雨晴れの澄んだ青空こんな日は白い紙飛行機飛ばしたい
朝日背に歩む姿の影に問う今日のあなたは元気ですか
細き月に寄り添うごとき金星の明るき光をしばし眺める
夕暮れの迫る庭辺にオオバコの茎をからめる見らは二人で

有久 賢治
梅田 國雄
佐藤せい子
田中 成美
中村トシエ
馬場 礼子
松本 東亜